

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		総務管理				整理番号	706		枝番号			
担当部課名		環境清掃部 清掃管理課		コード	230205		連絡先電話番号	3728		昨年度整理番号	692	
係名				管理係				上位施策名		No		
予算事業名				リサイクル・清掃管理		コード	67500		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
	清掃事業担当各課との連絡調整事務。 清掃関係情報の収集、提供事務。 ごみの搬入、搬出に関するデータの集積を行い、出先事業所と本庁においてごみ量を把握する。清掃車運転手休憩室の維持管理を行う。粗大ごみ受付センター運営委託事務。				廃棄物情報管理システムの運用により正確なデータを共有し、事務処理の効率化を実現させる。清掃に関する情報が各課に提供されることにより業務が円滑に行われる。他自治体や他機関との情報交換を行うことにより新しい施策の構築や計画策定に役立たせる。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 清掃事業従事職員数				(1)								
(2)				(2)								
区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	人	353	337	332	331	323					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	43,299	44,478	43,610	44,672	68,756	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年度7月～3月の間、平成18年度からの一般廃棄物処理業許可事務等の区への移行のため、移管準備担当係長を配置した。				
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円	32,972	34,851	35,630	36,291	59,181					
	職員数(常勤   非常勤)	人	2.71   0.00	3.14   0.00	3.14   0.00	4.60   0.00	3.85   0.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	24,374	28,574	28,448	41,676	34,881				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	67,673	73,052	72,058	86,348	103,637					
	単位あたりコスト( - )÷	円	191,708	216,772	217,042	260,870	320,858					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	67,673	73,052	72,058	86,348	103,637					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)			
	粗大ごみ受付センター運営(委託等)								36,971			
	廃棄物情報管理システム維持管理								5,564			
	運転手休憩室賃借料								1,329			
	その他 (事務用品購入等)								808			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	99.7	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	102.4
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		なし					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度から清掃事業が区に移管されたことに伴い事業開始。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	なし					
	今後の予測	平成18年度中に粗大ごみ受付業務について、「杉並区コールセンター」に統合するべく準備をすすめる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由:廃棄物情報管理システムによりごみ量や車両稼働状況を把握し、計画的な業務執行とデータ把握に効果を上げている。粗大ごみ受付センター運営による一括受付によりスムーズな区民対応を図っている。清掃工場敷地内に運転手休憩室の維持管理は、運転手の健康を確保し安全運転を行うために必要である。清掃事業を遂行する上で必要な情報提供事務を行うための電子複写機の契約や物品購入などを行っており、清掃事業にとって不可欠な事務である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:粗大ごみ受付業務を「杉並区コールセンター」に統合し、サービスを向上することに伴い事業費の増加が見込まれる。 理由または具体的内容:粗大ごみ受付業務について、区民の利便性向上を図るため、「杉並区コールセンター」に統合する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:個人・団体に対するサービスではないため(粗大ごみ処理については、廃棄物処理手数料を徴収している)。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容:粗大ごみ受付業務について、「杉並区コールセンター」への統合後、業務委託内容の改善を図っていくとともに委託経費の削減について考えていく。					
	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 粗大ごみ受付業務について、粗大ごみ受付センターを運営し業務委託している。今後区民の利便性向上を図るため「杉並区コールセンター」に統合予定。						
(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )							
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 粗大ごみ受付業務について、区民の利便性向上を図るため、18年度中に「杉並区コールセンター」に統合する。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 粗大ごみ受付センターで行ってきた業務を杉並区コールセンターに統合することから、区民サービスのより一層の向上を図るべくコールセンター職員への事前の業務教育等を実施する必要がある。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	粗大ごみ受付業務委託経費について、区民の利便性向上のため「杉並区コールセンター」に統合することにより、経費が増加する。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全対策・安全管理				整理番号	708		枝番号					
担当部課名		杉並清掃事務所・方南支所		コード	230501	連絡先電話番号	3392-7281	昨年度整理番号	695					
係名				管理係		上位施策名			No					
予算事業名				杉並清掃事務所維持管理		コード	69100		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上	20				
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 労働安全衛生法 (2) 杉並区安全衛生委員会設置規程 (3) 安全作業手順							
	清掃事務所、清掃事業所の職員、正副安全運転管理者、衛生管理者				活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
	活動指標名(式)				(1) 交通安全講習会受講者及び自動車運転職員研修受講者数 (2) 安全衛生委員会開催回数		自動車運転職員の運転技術の向上と安全運転意識を高め、交通事故件数を減少させる。安全な作業環境を構築し、公務災害の発生を防止する。 成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 交通事故等発生件数 (2) 公務災害発生件数							
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%		
							計画		実績		22年度			
指標	活動指標(1)		人	446		407		447		258		478		
	活動指標(2)		回	29		19		21		21		18	116.7	
	成果指標(1)		件	14		16		0		7		0		
	成果指標(2)		件	20		22		0		19		0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,327		12,559		16,359		10,449		17,090	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標(1)について、交通安全講習会の開催回数が予定より1回少なかった。 活動指標(2)について、安全衛生委員会の効率的運営のため、18年度から部における安全衛生委員会を廃止した。	
	(内) 投資的経費等		千円	0		0		0		0		0		
	(内) 委託費		千円	74		7		273		11		221		
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.40	0.00	1.40	0.00	1.40	0.00	1.40	0.00	1.40		0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	12,592		12,740		12,684		12,684			12,684
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 + +		千円	23,919		25,299		29,043		23,133		29,774		
	単位あたりコスト( - )÷		円	53,630		62,160		64,973		89,663		62,289		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引: 一般財源 -		千円	23,919		25,299		29,043		23,133		29,774			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		保護具及び医薬品等の購入								5,351				
		被服洗濯代等						20,898	着	2,613				
		産業医謝礼金等								1,547				
		その他 ( )								938				



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ごみの収集・運搬				整理番号	712		枝番号			
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230208	連絡先電話番号	3725		昨年度整理番号	699		
係名		清掃計画係			上位施策名				No			
予算事業名		ごみ収集管理		コード	68100	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則							
	区内一般家庭及び事業者 (排出日量50kg未満)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区民等から分別し排出された可燃ごみ、不燃ごみ及び粗大ごみを集積所等から収集し、中間処理施設又は車両中継施設へ搬入する。粗大ごみは、日曜収集及び中継所への区民持込制度を並行実施する。また、カラス等によるごみの散乱を防止するための方策を講じ、集積所の衛生状態やまちの美観を保持する。									
活動指標名(式)		(1) ごみ量(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ)		(2) 作業日数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ごみ量削減率(対前年度比) (2) 1作業日あたりの収集量						
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
	活動指標(1)	t	132,587	128,668	計画	実績	129,097	128,295	124,220	88,137	145.6	
	活動指標(2)	日	311	310	312	310	311	312	310	311	312	99.4
	成果指標(1)	%	99	97	100	100	97	78	127.8			
	成果指標(2)	t	426.32	415.06	413.77	413.85	399.42	282.49	146.5			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	992,296	1,014,553	1,060,073	1,009,226	936,623	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標(1)は、資源を除く区収集ごみ量。18年度計画及び22年度目標値には、19年度実施計画の単年度改定に伴うごみ量推計値(再算定)を計上した。なお、17年度実績は、速報値(参考値)である。 活動指標(2)は、収集作業の年間日数。ただし、計画時点では年末年始期間等の収集日が未定なため、実績が変更となる場合がある。今回、15及び16年度の実績日数を修正したが、これに伴い成果指標(2)の数値も修正した。 なお、財源の受益者負担分は廃棄物処理手数料、17年度の国・都からの支出金は水害発生に伴う災害廃棄物処理事業費国庫補助金である。			
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0				
	(内)委託費		千円	82,864	104,855	101,809	87,188	63,197				
	職員数(常勤   非常勤)		人	194.70   37.00	187.66   7.00	180.83   12.00	180.82   12.00	184.83   22.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,751,132	1,707,706	1,638,320	1,638,229	1,674,560				
		非常勤職員分	千円	102,083	20,160	34,680	34,680	63,580				
	総事業費 + +		千円	2,845,511	2,742,419	2,733,073	2,682,135	2,674,763				
	単位あたりコスト( - )÷		円	21,461	21,314	21,171	20,906	21,532				
	財源	受益者負担分	千円	382,903	363,287	399,985	357,556	380,644				
		国・都等からの支出金	千円				5,954					
特定財源計 +		千円	382,903	363,287	399,985	363,510	380,644					
差引:一般財源 -		千円	2,462,608	2,379,132	2,333,088	2,318,625	2,294,119					
受益者負担比率 ÷		%	13.5	13.2	14.6	13.3	14.2					
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)				
		ごみの収集・運搬(可燃・不燃ごみ、粗大ごみ)(委託等)				310	日	943,558				
		可燃ごみ夜間収集モデル事業(委託等)				4	地区	46,220				
		水害発生に伴う廃棄物の収集、運搬及び処理(委託等)				-	-	8,073				
		黄色いごみ袋の区推奨認定に伴う調査・検証及び普及活動				-	-	3,695				
		その他 (その他カラス対策等)				-	-	7,680				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	99.4	活動指標(2)の17年度達成率%	99.4	17年度予算執行率%	95.2
		活動指標(1)のごみ量については、当初算定した計画量よりも実績量が下回った。活動指標(2)の作業日数については、計画時点では年末年始収集日等が未定なため、実際の作業日数が計画日数から変更となった。また、予算執行率が100%に満たない理由は、主に清掃車両雇上費及び収集作業臨時職員費の実績残による。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		可燃・不燃ごみ収集作業は、作業形態を見直すことにより収集車両の台数を6台減車した。一方、粗大ごみについては、排出量の増加及び収集サービスの向上(日曜収集)による経費の増があった。また、14年度に開始した夜間収集モデル事業は規模の縮小により事業費を削減したが、黄色いごみ袋モデル事業の開始、折り畳み式ごみ収集ボックス設置台数の増加等、他のカラス対策事業を拡充した。なお、17年度は水害発生に伴い、収集車両経費や廃家電の処理費等を補正予算で対応した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ごみ量は総体的に減少傾向にあるが、不燃ごみは横這い・微増しており、プラスチックのリサイクルが重要な課題となっている。また、収集・運搬作業については、ごみ量に応じ人員機材の配置の見直しを行っているが、移管時の諸規制があるため効率化の進展には時間を要する。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域コミュニティの希薄さから、集積所の管理に関する住民間のトラブルも多く、マナーの改善や戸別収集を望む声が多い。区民の生活様式や考え方が多様化・個別化し、各人の生活スタイルに合致した収集形態を求める傾向にある。					
	今後の予測	今後、排出者の責任とごみ処理に係る負担の公平性を明らかにし、ごみ減量へのモチベーションが働くよう、戸別収集や家庭ごみ有料化の導入について検討を要する。また、廃プラスチックのサーマルリサイクルの実施が20年度以降予定されているため、収集作業も大幅に見直す必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 清掃事業は、区民の日常生活に密着しかつ不可欠な事業であるから。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 収集作業は、ごみ量から効率性、安全性等を考慮し毎年見直しを行っているため、移管時の規制はあるが、ある程度の効率化は可能である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 現在は、粗大ごみ、事業系ごみ、臨時的に多量に排出する場合等に限り有料となっている。しかし、ごみ減量の経済的な誘導策として多くの自治体が導入している家庭ごみ有料化について、今後検討することとなる。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 現在は、ごみ量に応じた作業計画を策定することにより効率化を図っているが、将来的には外部委託化等をさらに進める方向である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 現在は、ごみ収集車両(稼働車)の約70%を民間業者から配車し、収集作業も一部を人材派遣等による作業員で行っている。しかし、さらに外部委託等の拡大について検討する余地はある。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 17年度に清掃事業について個別外部監査を実施したが、その結果を踏まえ、清掃事業のより効率的な運営について検討中であり、今年度中に検討結果を報告する予定である。なお、検討課題としては、収集作業の効率化、契約方法の見直し、外部委託の拡大等であるが、今後の清掃事業の運営方法について総合的に見直すことが課題となっている。また、昨年度、粗大ごみの日曜収集、区民持込制度を開始したが、今後も区民の視点に立ったサービスの拡充を図る。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 20年度以降、廃プラスチックのサーマルリサイクルの実施が予定されているが、区民に排出方法の変更等の協力を得なければならぬ。また、作業計画が大幅に変更されるため、各集積所の収集曜日・時刻等の大幅な変更が予定される。したがって、19年度は、サーマルリサイクルモデル事業の収集運搬経費や周知用経費などが必要となる。	

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一部事務組合等負担金				整理番号	713		枝番号		
担当部課名	環境清掃部清掃管理課			コード	230205	連絡先電話番号	3728		昨年度整理番号	700	
係名	管理係			上位施策名				No			
予算事業名	一部事務組合等負担金			コード	68900		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 東京二十三区清掃一部事務組合 東京二十三区清掃協議会				(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 東京二十三区清掃一部事務組合規約 (3) 東京二十三区清掃協議会規約						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区が行っていないごみの中間処理などを23区で共同処理するほか、清掃車両雇上会社の配車調整、23区ごみ推奨袋の認定事務、一般廃棄物処理業の許可に関する事務などを行うための経費を各区が負担する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区が負担金を支出することにより、東京二十三区清掃一部事務組合が可燃、不燃、粗大ごみの中間処理及びし尿の下水道投入について共同処理を行う。また、東京二十三区清掃協議会は、各区及び東京二十三区清掃一部事務組合等との連絡調整を行う。						
	活動指標名(式) (1) 4月1日現在人口(住民登録者数及び外国人登録人口) (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 杉並区のごみ処理量(資源物を除く) (2) 杉並区のし尿処理量						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	522,155	524,819	524,819	528,417	528,417	529,484	99.8	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		t	151,118	147,199	147,278	145,349	142,594	133,939	108.5	
	成果指標(2)		kl	143	158	142	161	155	146	110.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,418,856	2,404,578	2,424,512	2,412,924	2,268,833	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.22   0.00	0.21   0.00	0.21   0.00	0.21   0.00	0.21   0.00	0.21   0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,979	1,911	1,903	1,903	1,903		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	2,420,835	2,406,489	2,426,415	2,414,827	2,270,736			
	単位あたりコスト( - )÷		円	4,636	4,585	4,623	4,570	4,297			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	2,420,835	2,406,489	2,426,415	2,414,827	2,270,736				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		東京二十三区清掃一部事務組合分担金						2,411,075			
		東京二十三区清掃協議会負担金						1,849			
		その他 ( )						0			

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.7	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	99.5
人口移動による負担額の微減による執行率の減。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度清掃事業区移管に伴う事業開始 東京二十三区清掃一部事務組合分担金 23区総額の推移 12年度:38,736,990千円 13年度:41,598,973千円 14年度:39,000,216千円 15年度:38,760,199千円 16年度:38,710,852千円 17年度:39,001,783千円				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	なし				
	今後の予測	平成18年度から東京二十三区清掃一部事務組合分担金の各区分担金額算出方法が変更になり、従来の人口割のみではなく、各区分担金額相当分と併せて算出することとなった。このため、各区分担金額の取組みの成果がコスト削減につながる。また、近い将来ごみ処理手数料の改定も予定されている。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由 )	理由:東京二十三区清掃一部事務組合は、区が行う収集・運搬以外の処理・処分やし尿処理を行っている。また、東京二十三区清掃協議会は、清掃車両庫上会社への配車調整、一般廃棄物処理業の許可に係る事務、23区推奨ごみ袋の認定に係る事務などを23区の窓口として行うことにより正しいごみの排出、円滑な収集・運搬事業を実現させている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容:プラスチック、ペットボトルなどの分別収集の拡充や集団回収の推進、生ごみのリサイクルなどを行うことにより、ごみ減量の実現を図る。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 東京二十三区清掃一部事務組合及び東京二十三区清掃協議会は受益者でなく、事業主体であるから。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容: 23区全体のごみ量を減らすことにより東京二十三区清掃一部事務組合経費が削減できることから、当区においてもごみの削減に向けた取組を行う。18年度から各区分担金額に応じて分担金額が算出されることから、ごみ減量が区の負担割合の減少につながる。また、今後予定されているごみ処理手数料の改定により経費の削減が見込まれる。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手	理由: 東京二十三区清掃一部事務組合及び東京二十三区清掃協議会運営経費の分担(負担)金のため				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 プラスチック、ペットボトルなどの分別収集の拡充や集団回収の推進、生ごみのリサイクルなどを行うことにより、ごみ減量の実現を図っていく。ごみ減量が東京二十三区清掃一部事務組合の経費削減につながるとともに、分担金の区負担割合も減少させることが可能となる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	ごみ減量を推進していくことにより、区分担金を減少させる。

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		浄化槽維持管理				整理番号	716		枝番号						
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230205		連絡先電話番号	3728		昨年度整理番号	703				
係名		管理係				上位施策名				No					
予算事業名		ごみ収集作業等		コード	68100		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 浄化槽法 (2) 杉並区浄化槽指導要綱 (3) 杉並区浄化槽清掃経費助成特別措置に関する要綱										
	区内に設置された浄化槽の管理者														
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内の浄化槽の現況調査等による把握。苦情による浄化槽管理者に対する指導。下水道未普及地域に設置された浄化槽の清掃経費助成。												
活動目標名(式)		(1) 浄化槽利用者調査の発送件数 (2) 浄化槽清掃経費助成件数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 浄化槽の管理者に対して適正な浄化槽の保守・管理を促し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることを目的とする。また、公共下水道告示地域の浄化槽管理者には、早期の下水道への接続を促し浄化槽利用がなくなる。											
成果指標名(式)		(1) 浄化槽設置数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		17年度実績		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		件	104		92		78		88		82	60	146.7	
	活動指標(2)		件	1		1		1		1		1	0		
	成果指標(1)		基	76		78		78		82		82	60	136.7	
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15		32		37		23		37	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円												
	(内)委託費		千円												
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.32	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00	0.10	0.00	0.10			0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,878		819		815		906				906
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0				0
	総事業費 + +		千円	2,893		851		852		929		943			
	単位あたりコスト( - )÷		円	27,817		9,250		10,923		10,557		11,500			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0				
差引:一般財源 -		千円	2,893		851		852		929		943				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み		内 容				規模		単位	事業費(千円)						
		浄化槽現況調査等郵送料							14						
		浄化槽清掃経費特別助成金				1		件	9						
		その他		( )					0						

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	112.8	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	62.2
浄化槽調査の回答率は昨年比去年に比べ微減したが、廃止が確認されたもの、新たに浄化槽を使用中であることが確認されたものについて浄化槽管理者台帳の整理が進んだ。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
浄化槽で型式が不明なものについて、浄化槽清掃業者の協力を得て把握することができた。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度に都から区に事業が移管された時点で、区内には下水道未普及地域がほとんどなく、現在清掃経費を助成する件数は1件となっている。浄化槽の管理者数は都からの移管時の台帳から現況調査により削除しているが、台帳にない浄化槽管理者についてもアンケートを行い、実態により台帳を管理している。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	なし				
	今後の予測	浄化槽管理者に対して下水道への直結を促すように啓発を行ったが、「費用がかかる」「建替え時に廃止する」「(周囲の環境により)工事が難しい状況にある」、等早くに廃止を進めるのが困難な状況にある。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由 )		理由: 浄化槽の数が少ないため。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策		理由または具体的内容: 浄化槽を下水直結するためには、個人の経費負担が多いため今後啓発を進めても効果が期待できない。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )		理由または具体的内容: ほとんどの浄化槽管理者に対する助成はないため。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )		理由または具体的内容: 浄化槽清掃経費助成の制度について見直しを図る。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )		協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )		協働等による成果と課題 浄化槽の型式等、区が調査するのが困難な事項について、浄化槽清掃業者の持っているデータから情報を提供してもらった。引き続き、浄化槽の型式等、区が調査するのが困難な事項について、浄化槽清掃業者の持っているデータからの情報提供を受ける。			
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 浄化槽の清掃経費については対象が1件であるため、助成を継続するかどうかについて検討する。					
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
(2) 理由 浄化槽設置数が横ばい状態のため、現況調査や下水道への直結促進の啓発等、例年どおりの経費が見込まれる。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		エコ商店街事業				整理番号	717		枝番号		
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230214	連絡先電話番号	3733		昨年度整理番号	704	
係名				リサイクル推進係				上位施策名		No	
予算事業名				ごみ収集管理		コード	68100		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		16 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区エコ商店街事業実施要綱				
	資源回収に取り組もうとする商店会						(2)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				商店街にペットボトル、空き缶の回収機又は回収ボックスを設置し、近隣住民にペットボトル、空き缶を持ち寄ってもらう。回収機の当初経費、回収ボックス購入経費、回収経費は、区が負担する。商店街は、回収品の排出など回収に伴う労働を提供する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
活動指標名(式)				(1) ペットボトル、空き缶回収機設置台数 (2) ペットボトル、空き缶回収ボックス設置商店街数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 資源回収量 (2)					
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		台		0	2	0	3	3	0.0	
	活動指標(2)		商店街		0	7	0	9	9	0.0	
	成果指標(1)		kg		0	36,000	0	42,000	42,000	0.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円		0	17,216	0	17,506	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円		0						
	(内)委託費		千円		0	10,891	0	14,229			
	職員数(常勤   非常勤)		人		0.32   0.00	0.60   0.00	0.00	0.16   0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	2,912	5,436	0			1,450
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	0	2,912	22,652	0	18,956			
	単位あたりコスト( - )÷		円			11,326,000		6,318,667			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	2,912	22,652	0	18,956				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0		0.0				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		エコ商店街事業への応募商店街				0	箇所				
		その他 ( )						0			

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	0.0	活動指標(2)の17年度達成率%	0.0	17年度予算執行率%	0.0
区内全商店街にエコ商店街事業募集案内を送付したが、応募商店街がなかったため、事業未執行。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	エコ商店街事業を進めるにあたり、16年度は一部商店街との直接交渉や見学などを行った。17年度、エコ商店街事業の進捗はなかったが、環境省循環型社会形成実証事業としてスパーにペットボトル回収機が導入され、区が後援した。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	すでに商店会から問い合わせが複数あるが、商店街活性化への期待と一方で設置場所や必要経費等で運用への不安があると思われる。				
	今後の予測	回収機の導入にこだわらずにごみ減量運動として進めれば、環境活動に関心のある商店会の参加が進む。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 区民がペットボトル、空き缶を排出する際に身近な商店街に回収拠点を設置することにより利便性が高まる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 商店街への働きかけや事業立ち上げ時の支援方法などを工夫する。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 区負担分と商店会負担分の適正なあり方について、十分検討のうえ、事業を実施する。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 事業実施予定内容のうち収集運搬について、18年度は一般業者への委託とする。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 回収機の当初導入経費と集まった資源の回収を区が負担する。取り組みをはじめるときには、区の助成によりスタートし、その後軌道に乗った段階で自主運営に切り替えていく。また、商店会の取り組みを近隣住民に周知することで、施策の効果を上げるとともに、商店会の活動を活性化させる。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成] (具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ペットボトル、空き缶回収機、回収ボックスを商店街に設置するにあたり、商店会の自主的な運営が進むには、回収が集客につながるシステムとなる必要がある。商店会との協働により、検討と導入を進めていく。導入までに費用負担についても、十分説明を行い、理解を得る。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	回収機導入台数が増えることにより、回収実績に伴う支出が増える。				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃協力会				整理番号	718		枝番号										
担当部課名		杉並清掃事務所		コード	23501		連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	706								
係名				管理係				上位施策名		No									
予算事業名				普及啓発		コード	67900		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20								
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業										
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等												
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区清掃協力会会則												
	対象						(2) 杉並区清掃協力会女性部運営細則												
	対象						(3)												
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				杉並区清掃協力会への業務委託 ・清掃施設見学会及び研修会、清掃懇談会などの実施。 ・協力会員対象の環境美化、資源再利用の促進、ごみ減量化及び排出ルールの普及などの活動を行う地域団体を側面から支援する。															
活動目標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) すべての区民、事業者が清掃事業に関する理解を深め、自主的に資源の再利用の促進やごみの適正排出、減量化に積極的に取り組む。															
成果指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 清掃懇談会及び女性部会等の参加者数 (2)															
				(1) 資源化率(ごみ量中の資源の率) % (2)															
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%							
							計画	実績	計画										
指標		活動指標(1)		人		873		820		1,000		581		700					
		活動指標(2)																	
		成果指標(1)		%		17		18		19		20.5		21		32.5		63.1	
		成果指標(2)																	
総事業費・コスト把握		事業費		千円		657		708		708		708		708		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年度、東西清掃協力会の統合に伴い、重複する会議や事業を整理統合した。 また、平成22年度の目標値は、平成20年度に杉町連への統合を目指しているため、数値目標は設定できない。			
		(内)投資的経費等		千円															
		(内)委託費		千円		657		708		708		708		708					
		職員数(常勤   非常勤)		人		0.92   0.00		0.92   0.00		0.90   0.00		0.92   0.00		0.90   0.00					
		人件費		千円		8,274		8,372		8,154		8,335		8,154					
		常勤職員分(超勤分含む)		千円		0		0		0		0		0					
		非常勤職員分		千円		0		0		0		0		0					
		総事業費 + +		千円		8,931		9,080		8,862		9,043		8,862					
		単位あたりコスト( - )÷		円		10,230		11,073		8,862		15,565		12,660					
		財源		千円															
受益者負担分		千円																	
国・都等からの支出金		千円																	
特定財源計 +		千円		0		0		0		0		0							
差引:一般財源 -		千円		8,931		9,080		8,862		9,043		8,862							
受益者負担比率 ÷		%		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
17年度の主な取組み		内 容						規模		単位		事業費(千円)							
		事業委託料										708							
		その他 ( )										0							

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	58.1	活動指標(2)の17年度達成率%	17年度予算執行率%	100.0
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	東西清掃協会の統合に伴い、事業の効率化が図られ事業実施回数は減少したが、清掃施設見学会、研修会、地区懇談会の実施を通じて、清掃事業関連の情報提供などを行い、協会の活動を側面から支援した。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区のごみ量(単位:トン) 平成15年度132,587 平成16年度 128,668 平成17年度 128,295 排出者である区民のごみ減量、資源化への理解・協力が高まり、分別排出が促進され、ごみの減量が進み、資源化率が向上してきている。			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	協会の役員は、町会組織の清掃事業担当として地域で活動していることから、地域住民からの信頼が高く、チラシ配布・ごみの排出指導など区への協力度も高い。また、研修会や清掃施設見学会を通して、区の清掃事業などを知るよいきっかけになっていると好評である。			
	今後の予測	ごみゼロ社会づくりを目指した、更なるごみの減量化、再資源化、再利用の促進のためには、これまで以上に区民・事業者の理解および参加が必要不可欠である。行政と住民のパイプ役を担っている協会の役割は重要だが、平成20年の杉町連との統合など課題もある。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 環境衛生の向上のため、行政と区民とが一緒になって取り組むことが必要である。協会は、行政と地域住民をつなぐパイプ役として環境清掃行政を支えている。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 事業内容を変更するなどにより可能。  理由または具体的内容: 研修会や施設見学会を通じて区の清掃事業への協力と理解を深めてもらい、より一層のごみの減量化、リサイクルの推進をすすめる。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 清掃協会は、住民の任意団体のため、区が判断すべきではないと考える。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [事業の統廃合] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 委託内容を変更するなどにより可能。また、杉町連との統合で事業の効率化も考えられる。			
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
協働等点検	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 自主的活動支援のための事業であり、清掃事業の普及啓発のための協会会員及び一般区民を対象とした清掃施設見学会や清掃懇談会、研修会などを通じて、清掃事業への理解と協力は高まってきている。杉町連との重複した組織形態のため、杉町連との統合を行い、事業の効率化を図り、よりいっそう充実した事業展開を支援していく必要がある。			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )				
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年6月、西・東清掃協力を統合し、杉並区清掃協力が設立した。 これを機に、資源・ごみについての意識啓発を、協会の更なる推進事業として委託内容に含め、いわゆる無関心層に対してもごみ出しルール等の周知徹底を図っていききたい。また、平成20年の杉町連との統合で事業の効率化を図るが、今までの事業の縮小ということではなく、今までの事業を継続しつつも、より発展した事業転換ができるよう側面から支援していく。				
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	見学会、研修会や協会内部の組織のあり方の検討を行っていることではあるが、実施事業による区民・協会会員の清掃事業への理解・協力の高まりは、ごみ減量化やリサイクル推進の促進に重要な役割を果たしており、来年度予算については現状維持の予算見積もりとする。			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ふれあい指導			整理番号	720		枝番号		
担当部課名		環境清掃部 杉並清掃事務所		コード	230504		連絡先電話番号	3392-7281		
係名		作業係		上位施策名				No		
予算事業名		ごみ収集作業等		コード	68300		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		708	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成			12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条						
	区民及び区内事業者			(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例第5条						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			(3)						
集積所単位で、ごみの排出や事業系有料ごみ処理券貼付(受益者負担)の指導を計画的に実施する。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・可燃・不燃ごみや資源の分別排出の徹底、並びに、ごみ減量やリサイクルの推進。 ・有料ごみ処理券貼付の徹底。							
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) ふれあい指導件数			(1) 不燃ごみの資源混入率							
(2)			(2) 資源化率							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	件	3,386	3,032	3,109	2,776	3,187	3,517	78.9	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	22	13	11	18	11	7	257.1	
	成果指標(2)	%	17	18	19	21	23	27	77.8	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,955	1,998	10,298	1,274	13,940	<b>特記事項</b> <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 平成17年9月12日から、10月22日まで水害対策のため活動を中止した。平成17年より一部地域で廃プラスチックを資源として回収し、平成18年に地域拡大をした。17年度以降の廃プラスチック回収開始、18年度以降のその拡大とサーマルリサイクルのモデル実施による収集日変更の可能性があった。そのため表示板等を新たに作成する事業費を計上した。		
	(内)投資的経費等	千円								
	(内)委託費	千円								
	職員数(常勤   非常勤)	人	10.89	10.00	10.00	10.00	10.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	97,945	91,000	90,600	90,600			90,600
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	100,900	92,998	100,898	91,874	104,540			
	単位あたりコスト( - )÷	円	29,799	30,672	32,454	33,096	32,802			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	100,900	92,998	100,898	91,874	104,540			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)				
	排出指導ステッカー、集積所看板シール			126,500	枚	1,197				
	その他 ( )					77				

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	89.3	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	12.4
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ふれあい指導は担当者に限定して行っていたが、収集職員が行えるように改善した。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	曜日違い等のルール違反ごみの調査・指導や集積所の改善、戸別収集化に関する要請がある一方、ルール違反の指導が厳しいと不満の声も上がっている。				
	今後の予測	区民、事業者にごみ分別や貼付がより一層浸透する。廃プラスチック分別収集地域の拡大により、不燃ごみの減量がさらに進む。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 不適正排出者に対する指導の徹底により、ごみの減量、リサイクルの推進、定期的な環境学習の開催など、効果は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 不適正排出の現状をデータ化し継続的に指導する。(				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 事業の性格から受益者負担の余地はない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 各収集作業員への一部業務移行。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 行政指導・勧告のため協働になじまない。				
	(3) 協働等の形態					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入  (2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 定期的な異動をおこなうことにより、ふれあい指導班経験者の蓄積を行い、各班での指導業務の充実、向上を図る。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃事務所維持運営				整理番号	721		枝番号	
担当部課名		杉並清掃事務所・方南支所		コード	230501	連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	709
係名 管理係					上位施策名				No	
予算事業名 杉並清掃事務所維持管理					コード	69100		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 本所-784.70㎡(S41.6竣工)、方南支所-1875.64㎡(S53.12竣工)、下井草分室-602.96㎡(S58.9竣工)、杉並中継所-6890.31㎡(H8.3竣工)				(1) 消防法 (2) 建築基準法 (3) 廃棄物の処理及び再利用に関する条例					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 各清掃事務所及び分室並びに杉並中継所の庁舎等の維持管理と運営を行う。方法は、職員と業者委託による遂行。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 建物や設備等を適正に管理し、安全で機能的な執務環境を確保する。					
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 建物の延床面積(㎡)				(1) (代)不具合件数						
(2)				(2)						
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	㎡	8,278	8,278	10,154	10,154	10,154			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	件	59	44	0	50	0			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	97,274	108,408	170,407	144,455	152,089	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0			
	(内)委託費	千円	22,991	23,155	56,554	57,124	51,183			
	職員数(常勤   非常勤)	人	4.69   2.00	4.68   2.00	4.50   2.00	4.50   2.00	4.50   2.00			
	人件費	千円	42,182	42,588	40,770	40,770	40,770			
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,518	5,760	5,780	5,780	5,780			
	非常勤職員分	千円	144,974	156,756	216,957	191,005	198,639			
	総事業費 + +	千円	17,513	18,936	21,367	18,812	19,563			
	単位あたりコスト( - )÷	円								
	財源	千円								
受益者負担分	千円									
国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	144,974	156,756	216,957	191,005	198,639				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)	
	光熱水費								65,327	
	保守管理委託費								57,124	
	維持管理費								14,634	
	施設等整備費								7,370	
その他 ( )								0		

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	84.8
施設の老朽化に伴い、配水管・建具などの修理が増加している。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
18年度は、作業環境を改善するため、トイレの改修を行う。なお、設備に不具合が生じた場合は作業に支障をきたさないよう速やかに修理を行う。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成14年度6月に夜間・早朝収集作業が開始されたことに伴い、従来職員の控室であった一部の部屋を和室に改装し従事職員の対応にあてている。また、16年度に組織統合を図り、効率的な組織運営を行っている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	杉並中継所の役割が正當に評価されている一方で、井草森公園周辺の環境問題に関連して、中継所の操業停止を求める意見も一部にある。				
	今後の予測	組織統合を行ったことにより、組織運営のより一層の効率化が求められている。また、清掃事務所本所及び方南支所の築年数が、それぞれ40年、27年となり、今後、修繕個所が増加する事が予測される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 清掃事業は生活環境の向上には欠かせないものである。また、中継所も計画どおり稼働しており、目的を十分に果たしている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 老朽化した施設については、大規模な改修(建替え等も含む)等を行い、作業環境の改善を行う。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は	理由または具体的内容:				
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容:				
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 建物の機械設備・電気設備・消防設備の保守、樹木の管理、中継所のねずみの駆除、清掃業務の一部などを委託し、民間活力の活用を図っている。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 (1) 全職員が杉並区環境方針を理解し、電気・水道・ガスなどの節約に取組み経費を可能な限り削減する。 (2) 現在、各所単位で契約している委託契約を、集合契約とすることにより、より安価な契約が可能となる。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 限られた財源の中で、内部努力をしながら現状維持を図る。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 限られた財源の中で、執務環境の改善を図っていく。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃車両(ごみ収集車)の運行及び維持管理				整理番号	722		枝番号								
担当部課名		杉並清掃事務所		コード	230510		連絡先電話番号	3317-6771		昨年度整理番号	711						
係名					杉並清掃事業所					上位施策名		No					
予算事業名					清掃事業所維持管理					コード		69500		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20	
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業									
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等											
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例											
	区所有清掃車両(ごみ収集車)26台					(2) 道路運送車両法											
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			区所有清掃車両の運行 区所有清掃車両の車検、点検、 自動車損害賠償責任保険への加入 自動車重量税の支払い 清掃車両の仕様の決定		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 作業計画どおりの配車を行う 清掃車両の買い替えは、災害対策を考慮した低公害車への更新に努める											
活動指標名(式)			(1) 年間延べ配車台数		(2) 低公害車の導入台数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 配車率 $\frac{\text{配車台数}}{\text{計画台数}}$ (2) 低公害車率 $\frac{\text{低公害車台数}}{\text{清掃車保有台数}}$										
指標	区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度計画		17年度実績		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%					
	活動指標(1)		台	7,373	6,523	6,200		6,244		6,200	6,200	100.7					
	活動指標(2)		台	4	4	26		26		25	24	108.3					
	成果指標(1)		%	100	100	100		100									
	成果指標(2)		%	100	100	100		100									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	85,422	28,223	37,764		27,636		37,837	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)						
	(内)投資的経費等		千円								16年度までの指標(2)は、低公害車(LPG・天然ガス)購入台数。 17年度からの指標(2)は、低公害車保有台数(八都県市指定低公害車)。19年度～活動指標(2)目標台数24						
	(内)委託費		千円	65	0	65		11		65							
	職員数(常勤 非常勤)		人	48.39	2.00	46.50	3.00	39.00	2.00	42.08			2.00	37.00	2.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	435,220	423,150	353,340		381,245		335,220							
		非常勤職員分	千円	5,518	8,640	5,780		5,780		5,780							
	総事業費 ++		千円	526,160	460,013	396,884		414,661		378,837							
	単位あたりコスト( - )÷		円	71,363	70,522	64,014		66,410		61,103							
	財源	受益者負担分		千円													
		国・都等からの支出金		千円	1,995	0	0		0				0	0	0		
特定財源計 +		千円	1,995	0	0		0		0	0			0				
差引:一般財源 -		千円	524,165	460,013	396,884		414,661		378,837								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0								
17年度の主な取組み			内 容						規模	単位	事業費(千円)						
			清掃車維持管理 自動車用燃料 光熱水費								15,599						
			車両点検整備 一般需用費(材料品等)								9,317						
			維持管理経費 一般需用費・役務・委託・公課等								2,719						
			その他														

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.7	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	73.2
		清掃車両直営による運行及び維持管理による経費削減に努めた。安全な車両運行のため、計画的な車両整備を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		車両保有台数減(清掃車両予備車を6台削減)による維持管理費等の削減。計画的かつ効率的な車両の車検・点検整備により安全運転の確保。安全運行による、事故を減らし事故対応費用の削減ができた。清掃作業車を事業所で集中的に車検点検整備、修理を行うことで効率的な運営を図っている。環境負荷や災害時の対応を考慮し、低公害ディーゼル車を導入予定である。修理部品やタイヤの購入についても経費削減と環境面とを考えている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度、都から移管された事業である。16年度車両管理の集中化となり、購入は、経理課に事務を移管した。17年3月には、高円寺、高井戸車両庫を統合し、配車を一元化した。車両保有台数は、移管時の33台が、職員数減により17年度26台、18年度25台となった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	18年度ごみ収集方法の変更等により、ごみの収集時刻 車の配車時刻 について一部要望がある。					
	今後の予測	ごみ量の逡減により、計画台数の減少も考えられるが、ライフラインを担う機関として災害時の対応も考慮した適切な車両の確保を図っていかなくてはならない。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:ごみ収集を支障なく行うことにより、平常な区民生活を確保できる。そのため作業計画どおりの配車を行い収集作業を円滑に完了させている。年末年始対策車や臨時車の配車によりごみ量の変化に対応している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:事業所には、車両整備担当職員が配置され実車、予備車を逐次点検している。これにより車両の調子を良好に保ち、安定的な配車と円滑な作業を可能にしている。 理由または具体的内容:今後、車両の点検修理や安全運転を徹底し、事故減少による事故の諸費用を削減させる外、他の費用についても見直す。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:清掃車両の運行、点検修理については、受益者負担はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容:車両の点検修理を徹底し事故等減少を図り、事故費用を間接的に削減させる。保有車両の適正化。部品の購入法の再検討をする。					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題:清掃車両の委託割合は、事業移管時、一定の割合が定められている。直営比率に満たない部分について業者委託(雇上)で対応している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 保有車両は、職員数に見合った直営車の運行を行っており、今後の 職員課による)職員雇用計画等によるところが大である。保有車両の見直しについては、平成16年度末30台、17年度末26台、19年度までに24台と予備車の減車を予定している。車両は全て環境負荷の少ない天然ガス、低公害ディーゼル等である。また、再生タイヤの利用等、部品の購入についてもコスト意識を持つ。事故予防的車両の点検整備の励行と安全運転による補修費等事故関係費の節減を図りたい。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事故については、予測不能である。車両については、事故予防的な車両の点検整備の充実を図る。運転担当については、安全運転研修への参加の推進等、安全運転意識の向上を図る。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input checked="" type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	清掃車両保有台数の減ほか、事故減による事故関係費の削減や部品購入等の支出執行時、費用節減努力による。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		不燃ごみ中継作業				整理番号	723		枝番号							
担当部課名		杉並清掃事務所		コード	230501	連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	712						
係名		杉並中継所			上位施策名				No							
予算事業名		ごみ収集作業等		コード	68300	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20						
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業									
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等											
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3) 清掃事業移管協定											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並区及び中野区、練馬区において収集した不燃ごみ				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
	活動指標名(式)		(1) 杉並区・中野区・練馬区の不燃ごみ中継量 (2) 積み替え後、コンテナ車出庫総延台数 ÷ 中継所搬入総延台数 × 100				中野区、練馬区と連携してごみの減量や、不燃ごみの約5割を占めるプラスチックの分別を徹底し、不燃ごみを最大80%減量することで中継所を不要なものとしていく。  成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 不燃ごみ中継比率 (2)									
指標	活動指標(1)		単位	t	15年度実績	55,301	16年度実績	53,748	17年度		18年度計画	54,000	目標値	22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
	活動指標(2)		%		15	15	15	14	計画		実績	80	80			
	成果指標(1)		%		73	79	80	80	計画		実績	15	80			
	成果指標(2)								計画		実績					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	684,466	655,887	690,811	673,299	689,968	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)							
	(内)投資的経費等		千円	37,000	36,750	36,750	36,750	36,750								
	(内)委託費		千円	42,993	42,028	43,299	42,823	42,150								
	職員数(常勤   非常勤)		人	12.00   6.00	12.00   2.00	12.00   2.00	12.00   2.00	12.00   2.00	12.00   2.00							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	107,928	109,200	108,720	108,720	108,720							
		非常勤職員分		千円	16,554	5,760	5,780	5,780	5,780							
	総事業費 + +		千円	808,948	770,847	805,311	787,799	804,468								
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	13,959	13,658	13,883	13,891	14,217								
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都等からの支出金		千円												
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0									
差引:一般財源 -		千円	808,948	770,847	805,311	787,799	804,468									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)							
			搬出車両雇上費(大型特殊車両)				5,273	台	454,384							
			積替用コンテナ購入				5	台	36,750							
			その他 ( )						182,165							

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	97.7	活動指標(2)の17年度達成率%	93.3	17年度予算執行率%	97.5
		区内1/6地区で廃プラスチックを資源ごみとして収集し、不燃ごみの減量に努め、あわせて経費節減を図った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	収集車の積載量の見直し、廃プラスチック、びん・缶の資源ごみ収集開始により増減はあるものの、成果指標は向上傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	中継所の役割、事業性かが正當に評価される一方で、井草森公園周辺環境問題に関連して、中継所の即時操業停止を求める意見が一部にある。					
	今後の予測	杉並中継所の安全で円滑な運営を行うとともに、引き続き周辺環境への影響を少なくするための努力を行っていく。また、ごみの減量対策を積極的に進め、24年度を目標に杉並中継所を不要なものとしていく。国は容器包装リサイクル法対象外のプラスチックについて熱処理することを検討し、区では18年10月からサーマルリサイクルの試行を行う。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 不燃ごみを圧縮し、中防不燃ごみ処理センターまで行く車の量を減らすことで、交通量と自動車公害を緩和し、環境の改善に役立っている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 効率的な収集・中継作業体制を確立していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 財調基礎数値に従量費用負担精度を確立するよう求めるなど、配分適正化の余地がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容: 効率的な収集運搬体制を確立することでコストダウンの余地がある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 法律により家庭廃棄物の収集・運搬・処分については区の責務であるが、中継所に関しては委託の可能性を研究する。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 廃プラスチックの資源収集やサーマルリサイクルをすすめ、ごみ半減プランを着実に推進し、中継所を不要なものとしていく。	
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 他区の不燃ごみの取扱について、23区全体での調整及び今後の取扱について検討が必要である。	
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 廃プラスチックの資源収集やサーマルリサイクルの実施により、不燃ごみが減少すると考えられる。

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		し尿・粗大ごみ中継作業				整理番号	726	枝番号			
担当部課名		環境清掃部杉並清掃事務所		コード	230507	連絡先電話番号	3323-4571	昨年度整理番号	715		
係名					方南作業係		上位施策名		No		
予算事業名					ごみ収集作業等		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 し尿及び粗大ごみの収集				(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) し尿: 小型車で収集したし尿を一時貯留槽に受け入れ、大型車で大井作業所へ搬出する中継所の管理運営を行う。 粗大: 小型ダンプ車で収集または自己持込をした粗大ごみを圧縮機を備えた中型プレス車に積替え、粗大ごみ破砕処理施設へ搬出する中継所の管理運営を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 中継所を適切に管理運営することにより、効率的な収集・搬出を行う。 中・大型車に積替えることで運搬車両台数を減らし、環境への負荷を最小限にする。						
	活動指標名(式) (1) 搬出したし尿量 (2) 搬出した粗大ごみ量				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) し尿搬出車両台数 (2) 粗大ごみ搬出車両台数						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		kl	1,980	2,045	2,000	1,997	2,000	1,800	110.9	
	活動指標(2)		t	3,845	3,799	3,900	4,105	4,259	3,350	122.5	
	成果指標(1)		台	461	468	460	465	465	420	110.7	
	成果指標(2)		台	2,665	2,558	2,600	2,680	2,839	2,200	121.8	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	157,482	156,102	180,104	160,988	165,612	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 17年度事業費には水害対策に伴う補正予算を含む。		
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円	25,037	24,940	27,299	28,909	27,299			
	職員数(常勤   非常勤)		人	3.46	2.13	1.06	1.07	1.07			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	31,119	19,383	9,604	9,694	9,694		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	188,601	175,485	189,708	170,682	175,306			
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	95,253	85,812	94,854	85,469	87,653			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	188,601	175,485	189,708	170,682	175,306				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		粗大ごみ日曜収集					204	件	41		
		粗大ごみ自己持込					265	件	94		
		その他 ( )							160,853		

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	99.9	活動指標(2)の17年度達成率%	105.3	17年度予算執行率%	89.4
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成18年2月から粗大ごみの日曜収集と自己持込制度を実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区のし尿対策戸数 平成11年度118戸 平成17年度68戸 平成15年10月から家庭用パソコンのメーカー等による回収・リサイクルが開始された。 平成16年4月から家電リサイクル法に家庭用電気冷蔵庫が追加された。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	粗大ごみの収集申し込みが増え、収集までの期間が地域によっては2週間程度かかる場合がある。申し込みから収集までの期間短縮などサービスの向上が求められている。なお、希望日の収集などきめ細かなサービスの要望に対し、日曜収集と自己持込の制度を平成18年2月から実施し好評を得ている。					
	今後の予測	粗大ごみの搬出量は、家電リサイクル法等の浸透と相俟って、冷蔵庫やテレビなど重量のあるものが大幅に減少し、重量ベースで比較すると年々減少傾向にある。しかし、申し込み件数はここ数年増加しており、景気の回復に比例し、今後僅かではあるが、増加が見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: し尿、粗大ごみとも小型車で収集し、より大型の車で処理・処分場へ輸送することにより、迅速かつ効率的な収集と輸送を実現し収集サービスの向上に貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: し尿: 貯留層や搬出車両台数の一層の適正管理に努める。 粗大: 家電や家電製品リサイクル化を進めることにより、粗大ごみの量を減らす。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: し尿については23区で統一して無料収集と決められている。粗大ごみは、収集が自己持込かで収集コストに対応した負担を求めている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容: 中継所の利用実態と土地等賃貸借契約を精査し、契約内容を見直す。					
	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						
(3) 協働等の形態							
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民から申込のあった粗大ごみの収集を迅速に行うためには、収集と中継作業の連携が必要であり、中継所のより効率的な運営を目指して委託内容を見直していく。 区は、粗大ごみ排出を抑制するため、資源や家具、家電製品のリサイクル、リユースを推進し、循環型社会の形成を推進する。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 中継所には渋谷区と中野区の粗大ごみが搬入されているため、杉並区が単独で委託内容を変更するのは困難な場合がある。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由						